

## 児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【保護者用】

(保護者等の皆様へ)

この評価表は、児童発達支援センター、児童発達支援事業所又は放課後等デイサービス事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	23	4	0	2	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	4	0	5	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい環境になっているか。また、障害の特性に応じ、設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切されているか	26	0	0	3	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	0	0	1	
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	29	0	0	0	よく子どもの様子を見てくれている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29	0	0	0	よく子どもの様子を見てくれている。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	27	0	0	2	言語がなくなった。
	4 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	21	4	0	4	
	5 児童発達支援の場合は保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	4	7	10	
保護者への	1 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	0	0	0	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	0	0	0	
	3 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	15	3	2	9	「こうした方がいい」みたいなことも知らせて欲しい。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
説明等	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理 解ができているか	26	0	2	1	先生によって言うことが違う。 理解できない。
	5 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関 する助言等の支援が行われているか	27	1	1	0	よく話を聞いてもらっている。
保護者への説明等（続き）	6 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開 催等により保護者同士の連携が支援されて いるか	4	3	11	11	必要がない。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応しているか	19	0	0	10	苦情を聞いたことがない。
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	25	2	1	1	
	9 定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定などについて、子どもや保護者 に対して発信しているか	26	1	0	2	
	10 個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	1	0	4	
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知 ・説明されているか	25	3	0	1	
	2 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 、その他必要な訓練が行われているか	24	2	0	3	
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	26	3	0	0	つばさ大好き(2名) 楽しい(3名)
	2 事業所の支援に満足しているか	27	2	0	0	頼りにしている。(3名)

#### 【チェック項目の欄に関する注釈】

「本人にわかりやすく構造化された環境」とは  
この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

「児童発達支援計画」又は「放課後等デイサービス計画」とは  
児童発達支援又は放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関する  
アセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意  
事項などを記載する計画のことで、事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

「活動プログラム」とは  
事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実  
施されることが想定されています。

「ペアレント・トレーニング」とは  
保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得すること  
を目標とします。